

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	公害保健福祉事業			事業番号	011-223
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	保健所 保健医療 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組	—		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画						
3	事業開始年度			昭和 49 年度	点検年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等) 公害健康被害の補償等に関する法律						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等) 本庁						
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数) 公害認定患者 1,099人						
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態) ぜん息に関する予防薬、吸入薬、吸入器の使い方などについての保健師による指導や、公害認定患者自身の基礎体力の向上を図るための教室の開催等により、公害認定患者の健康を回復、保持、増進させることを目的とする。						
8	事業内容 (目的を達成するための手段)		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭療養指導：公害認定患者の家庭を訪問し、日常生活の指導、保健療養指導等を行う。 ・いきいきセミナー <ul style="list-style-type: none"> 呼吸器教室：医師による講話、理学療法士による指導、運動療法の実践等を行う。 吹き矢教室：リハビリテーションの一環として、スポーツ吹き矢を行う。 ヨガ教室：リハビリテーションの一環として、ヨガを行う。 ・インフルエンザ予防接種費用助成：予防接種を受けた認定患者の予防接種負担金額を助成する。 				
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)						
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	/	実績		目標	目標
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	点検年度
						令和7年度	
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度
	公害認定患者の障害等級の維持・軽快の割合	%	目標値	100	100	100	100
		実績値	99	99			
		達成率	99%	99%			
	当該指標を選定した理由 公害認定患者の健康の回復、保持、増進を目的としたものであるため						
	目標値の設定根拠・算出方法 障害等級が維持または軽快している患者の割合						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	/	実績		目標	
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	家庭療養指導訪問人数	人	目標値	885	839	804	
		実績値	939	453			
		達成率	106%	54%			
	当該指標を選定した理由 より多くの公害認定患者への療養上の指導を行い、その健康の回復、保持、増進を図るものであるため						
	目標値の設定根拠・算出方法 家庭療養指導訪問人数						

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	公害保健福祉事業	事業番号	011-223
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

事業費 (a)	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	10,060	9,996	10,042	10,023	10,381
13 財源内訳					
国支出金					
府支出金					
市債					
その他 (福祉事業負担金)	5,766	4,299	7,987	3,473	7,785
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	4,294	5,697	2,055	6,550	2,596
14 人件費 (b)	7,590	7,570	8,140	4,790	6,890
15 年間経費(c)=(a)+(b)	17,650	17,566	18,182	14,813	17,271

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R2	決算				R2	決算		
16	会計年度任用職員報酬	R2	決算	6,668	5,030	封筒等印刷製本費	R2	決算	21	6
		R3	予算	6,830	1,707		R3	予算	23	6
	期末手当(会計年度任用職員)	R2	決算	1,301	1,003	通信運搬費	R2	決算	106	27
		R3	予算	1,480	370		R3	予算	137	35
	費用弁償(訪問旅費)	R2	決算	7	2	インフルエンザ予防接種費用助成金	R2	決算	1,353	339
		R3	予算	101	26		R3	予算	1,187	296
	費用弁償(通勤費)	R2	決算	553	139		R2	決算		
		R3	予算	606	151		R3	予算		
	消耗品費	R2	決算	14	4		R2	決算		
		R3	予算	17	5		R3	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
		939	453
② 上記①にかかる年間経費	千円	17,566	14,813
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	18,707	32,700
備考(算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、いきいきセミナーの全ての教室を開催できず、かつ家庭療養指導による訪問件数も大幅に減少したことから費用対効果は悪化した。令和3年度からは、いきいきセミナーの各教室は廃止する一方、コロナ禍にある現在の社会状況を見据え、電話等を活用した家庭療養指導を構築していく。

KPI等への寄与(基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、家庭療養指導訪問件数は減少し、また、いきいきセミナー各教室の休止により事業目的の達成に大きく寄与することは困難であったが、コロナ禍における、より効果的かつ実施可能な手法を構築していく。